



図書だより 6月号

2019年6月発行
睦合中学校
学校図書館
学校司書 川瀬

梅雨の季節に入ることを「入梅」(にゅうばい)といい、これ以後1か月間は雨の多い日が続きます。「梅雨」という言葉は、ちょうど梅の実が熟すころ雨が降ることからつけられたものと言われています。梅雨入りして雨が続く日は、部屋でじっくり読書してみてもいいでしょうか？



<お知らせ>…「ブックデリバリー」について

- ①「昼休みは忙しくて本を借りに行けない」「本を借りても返却に行く時間がない」という生徒の皆さんのためにブックデリバリーサービスを実施しています。**リスト以外の本もリクエストできます。**
- ②「**お試し読み版**」を3冊ほど各学年の廊下、図書室前の廊下に展示しています。ぜひ、手に取って読んでみてください。
- ③利用方法やブックリストなどの詳細は、「図書だより」裏面や各学年の廊下にも展示しています。

中学生時代に 読んでおきたい本

「楽園のつくりかた」

笹生陽子／角川文庫

勉強第一のエリート男子中学生・優は、親の都合で突然ド田舎の学校に転校することに。いっぱい勉強して、東大に入り、有名企業に就職するという将来プランがぐちゃちゃだ。しかも同級生はたった3人。



優の行く末はどうなる？ラストには衝撃の大どんでん返しがある！

「ぼくがぼくであること」

山中恒／角川つばさ文庫

毎日怒られてばかり。すっかり人生がイヤになっていた勉強大キライな秀一は、家を飛び出し、見知らぬ村へ逃げ込むが・・・。



初めての超田舎生活、財宝のウワサに恋の予感も。一生分の「まさか」がおこる、究極の夏休み。

「童話物語 上 大きなお話の始まり」

向山貴彦／幻冬舎文庫

地球は滅びるべきなのか、その判断を下すために妖精が地上にやってきた！



妖精フィッツは最初に会った少女ペチカを観察することに。感動のファンタジー。上下巻セットで、ぜひ読んでください。

「穴 HOLES」

ルイス・サッカー／講談社文庫

無実の罪で少年たちの矯正キャンプに放りこまれたスタンリー。かちんこちんの大地に一日一つ、おおきな穴を掘らされる。



ある日とうとう決死の脱出！友情とプライドをかけ、どことも知れない「約束の地」をめざす。

お試し読み版
あります！

ブックデリバリーご利用ください！

本をあなたの元に届けます。

2019年6月
睦合中学校
学校図書館

※「お試し読み版」を3冊ほど展示しています。ぜひ、手に取って読んでみてください。

- ①図書室前の廊下に、「ブックデリバリーリスト」を掲示します。リストの中から本を選ぶか、リスト以外のリクエスト本を書いてください。（「こんな本ありますか？」「こんな本が読みたい！」というリクエストには、学校司書が本を選びます。）
- ②申込書に「学年・組・名前」「本のタイトル」「記入日」を記入して、申込受付BOXに入れてください。
※申込書とBOXは図書室前の廊下にあります。
- ③申込みのあった本は、クラスボックスからご本人の元に届きます。
- ④本の返却は、返却BOXに入れるか、図書室のカウンターまでお願いします。
※返却BOXは図書室前の廊下にあります。デリバリー以外の本も返却できます。

< 6月のブックデリバリーリスト >

今月の特集は「雨にまつわる小説」です。

No.	本のタイトル・作者・出版社	おすすめポイント
1	「非・バランス」 魚住直子／講談社	霧雨の中、中学2年生の”わたし”は願いを叶えてくれるジンクスをもつ「ミドリノオバサン」と遭遇した。クールに生きているつもり”わたし”の口から思わず出た言葉は「タスケテ」。 少女と大人、傷つきやすい2つのハートが出会った、ある夏の物語。
2	「雨の降る日は学校に行かない」 相沢沙呼／集英社文庫	スクールカースト、保健室登校・・・学校生活に息苦しさを感ずる女子中学生たちの憂鬱と、かすかな希望を描き出す連作短編集。
3	「小説 言の葉の庭」 新海誠／角川文庫	雨の朝、静かな庭で2人は出会った。靴職人を志す高校生の孝雄と、謎めいた年上の女性・雪野。迷いながらも前に進もうとする2人は、どこへ足を踏み出すのか。
4	「晴れた日は図書館へいこう 1」 緑川聖司／ホプラ文庫ピュアフル	本好きの少女しおりが図書館で遭遇する数々の「謎」を描いた短編集。書き下ろし『雨の日も図書館へいこう』では、大雨の日図書館で起きた不思議な出来事が描かれています。
5	「コンビニたそがれ堂」 村山早紀／ホプラ文庫ピュアフル	最初のお話は、転校してしまった女の子と不本意な別れ方をしてしまった少年雄太の物語です。ほっこりする短編集です。
6	「櫻子さんの足下には死体が埋まっている 雨と九月と君の嘘」 太田紫織／角川文庫	美しい骨を愛でるのが大好きなお嬢様、櫻子さんが、僕（正太郎）の高校の文化祭に来ることになった。密かにときめく僕だけど、理科実験室で人骨が見つかり……。シリーズ第3弾。
7	「死神の精度」 伊坂幸太郎／文春文庫	死神・千葉の登場シーンはいつも雨。一週間の調査ののち、対象者の死に可否の判断をください、クールでどこか奇妙な死神が会う六つの物語。読みやすい短編集です。
8	「雨ふる本屋」 日向理恵子／童心社	だれかが忘れてしまった夢や、「おしまい」の文字を書かずに途中になってしまった物語に、雨をかけてできあがる「雨ふる本」。 ここは、あなただけの物語が見つかる本屋さん。
9	「雨ふる本屋の雨ふらし」 日向理恵子／童心社	「雨ふる本屋」の続編。ひみつの呪文を唱えてふしぎな「雨ふる本屋」にやってきたルウ子と妹のサラ。 大切な宝物をなくしたとき、あらたな冒険がはじまる。
10	「雨やどりはすべり台の下で」 岡田淳／偕成社	一郎たちと同じアパートに住む「雨森さん」。彼にまつわる不思議な話の数々が、複数の子どもの視点から語られます。 一体彼の正体とは・・・？